

# 長畑ひろのり News vol. 166



## 6月定例議会における質問③

### ・青少年コミュニティー運動広場 （青少年グラウンド）について

【長畑質問】グラウンドの土日祝日の使用率は。

【教育部長答弁】88.4%。

【長畑質問】グラウンドの整地はどうなっているのか。

【教育部長答弁】指定管理者の随時の実施に加え、利用団体には使用後に原状復帰の協力を頂いている。ただし、前日夜間や直前までの降雨など、グラウンドコンディションにより、使用前の整地に協力を頂くこともある。

【長畑質問】雨が降ると酷い状況（右画像）で、こうなると利用する前に整地が必要なのはわかる。地中内に排水管（透水管）を埋める工事はできないのか。



【都市整備次長答弁】比較的浅い部分での施設の設置という形になるので技術的には可能だが、費用は課題。

【長畑質問】個別施設計画においてグラウンドの位置付けは。

【総務部長答弁】東小学校跡地に移転させることとしているが、当該跡地の運動場に現状と同規模の運動広場を整備することは難しいため、建築物（体育館）等の解体及び整地等の造成工事が必要。

【長畑質問】東小学校跡地の体育館は南中学校跡地にできる体育館を利用することになると思うが、東小学校跡地の体育館の現在の利用はどうなっているか。

【教育部長答弁】土日祝日の使用率は約71.7%。

【長畑質問】それだけ利用されているのであれば、南中学校跡地に新しい体育館ができるまで残しておかなければならないのは理解した。となるとグラウンドの移転はできない、現状のまましばらくは使っていく必要がある。では、最低でもあと何年は利用するのか。

【総務部長答弁】2024年度までは、少なくとも現状の機能を維持していくもの考えている。

【長畑質問】少なくともとなれば、延びると考えても間違いではないと思う。そうすると整備が必要だと思うが。

【教育部長答弁】指定管理者と連携の上、効率的、効果的で安心・安全な施設利用に努めてまいりたい。

【長畑要望】個別施設計画におけるグラウンドの移転が、数年で完了するのであれば今までの対応が良い。しかし、今後は我々議会の責任も出てくるのだが、議決すべき計画に関する特別委員会における議論の内容や方向性もわかっていない状況で、それも確かではない。

実際、近隣からのクレームが多い施設。早急な移転が一番の要望だが叶わない。結果、先行きの見通せない中、グラウンドの状況は悪化し続けている。しかし、行政は移転が決まっているので予算をかけ手を入れることもしない。

それも理解できるが、放置に近い状態を続けていると、利用者が大きな怪我をし、市として責任を負うような事態に陥らないとも限らない。そうなる前に、グラウンドの維持管理を今後5年程度はどうするのか、早急に庁内で検討し答えを出すことを要望する。

## 四条畷駅周辺整備の期間延伸

令和4年8月29日、大東市より四條畷市に対し「四条畷駅周辺整備事業の期間延伸」に関する通知がありました。変更内容については、以下の通りとなります。

事業期間：当初 平成25年度から令和4年度  
変更 平成25年度から令和7年度

延伸理由：事業用地の取得に不測の日数を要していること及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業進捗に遅れが生じ、当初計画期間内での事業完了が困難となったため。

当初の計画では本年度に終わる予定でした。しかし、3年も期間が延伸となったため、駐輪場や駐車場等でご迷惑をおかけしている市民や商店街関係者の皆様には、引き続きのご協力をお願いします。



# 9月定例議会における質問①

## ・児童遊園について

【長畑質問】民有地であった「さんら児童遊園」の閉園は残念だが、所有者の方には長きにわたり本市の子ども達のために貸してもらい感謝ではありません。しかし、平成20年の予算特別委員会で長畑が指摘した通り、市の所有地でない限り予想できたにも関わらず、14年間何も対策をとっていない状況にはあきれられる。

そこで、個別施設計画の話になるが、国道163号の南北とJR学研都市線の東西、それにプラスして国道170号より西とで分けた5ヶ所全てに公園を整備する計画は誰もが知っている。そして、その5ヶ所の内、4ヶ所については公園整備をするための土地があるのは理解できる。

残り1ヶ所、つまり、国道163号の北側とJR学研都市線の西側と国道170号に囲まれた地域（さんら児童遊園もこの地域）の公園整備計画を進めることができるのであれば、個別施設計画を待たずとも整備を願うが、いかがか。

【都市整備部長答弁】現時点で公園整備が可能な市有地を保有していないため、岡部小学校の校庭開放も視野に検討しているが、学校施設の解放には課題があり現状においては解消が困難な状況。そのため、当該地域の公園整備について、具体的な時期を示せないが公園整備に向けて検討を重ねる。

【長畑質問】公園整備を校庭開放で逃げるような検討はすべきでない。土地がないのであれば購入するしかないのでは。そこで、本市として生産緑地制度により土地を購入した事例として四條畷西中学校東側の土地がある。購入した経緯は。

【都市整備部長答弁】生産緑地の買い取り申し出に応じ、生産緑地法第12条第1項に沿って、当該生産緑地を市が買い取る旨を通知し、購入した。

【長畑質問】買い取りの申し出があった場合、一月以内に買い取るか買い取らないかの判断をしなければならないのか。

【都市整備部長答弁】その通り。

【長畑要望】本市は、生産緑地制度を活用している土地を全て把握している。その中から、どの所有者から買い取りの申し出があるのかは、場所の特定も含め時期ですら誰にも分からない。また、どこからも買い取りの申し出がないかも知れない。そうであったとしても、事前に検討が必要。

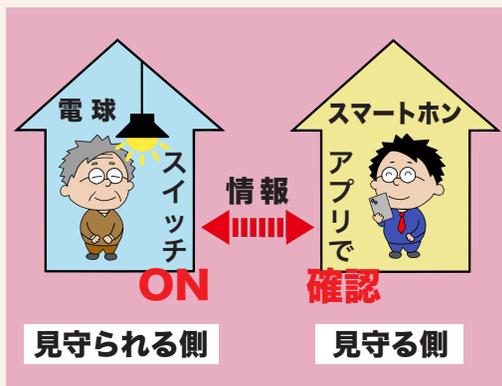
買い取りの申し出があるのかわからない状況だとしても、いつ買い取りの申し出があっても良い様に、児童遊園として使えるのかどうかの判断を、全ての生産緑地制度を活用している土地について今から検討してもらうことを要望する。

## ・ひとり暮らし高齢者の見守りについて

【長畑質問】「IoT」を活用した見守りについて、先進市の事例など本市として把握している内容は。

【健康福祉部長答弁】岐阜県大垣市の事例では、市内在住の

ひとり暮らし高齢者等を見守る家族等を対象として、工事不要の通信機能を内蔵したLED電球を支給し、その点灯・消灯情報を家族等がスマートフォンで随時確認できる他、



24時間点灯がない場合等には家族等にアラートが送られるもの。

利用者負担は月額638円で、市予算としては電球の支給費用13万円が計上され、昨年5月の申込開始以降、昨年度は33件の実績があった。

【長畑要望】コロナウイルスの感染者数は減ってきているが、ひとり暮らしの高齢者の見守りを人だけに頼るのはソーシャルディスタンスの観点からも限界にきているのではないか。

先ほど先進事例として述べられた岐阜県大垣市の人口は、本市の約3倍、156,920人とあった。その事業予算は、電球の支給費用13万円。

本市で同様の事業をしたなら5万円もあればできるのではないか。大垣市を含め他市でも多く導入している見守りができるLED電球、いわゆる「見守り電球」や「ハローライト電球」など企業によって名称は変わるが、これらの電球を使った見守り事業を、コロナ禍、取り入れる時が来ていると思う。

早急に調査研究し、年度内にもこの事業を立ち上げること、そして見守りができる電球のことを知らない人も多だろうから、市民に事業内容を周知してもらうことを要望する。

## ひろのり物語 ⑦

作：長畑ひろのり

1961年5月18日  
母と姉、そして私は  
鳥取県境港市から尼崎市の親戚宅へ



1961年9月4日  
父の住む大阪へ



生まれて5ヶ月  
家族そろっての生活が  
大阪市港区で始まる

